

第2章 本県水産業のめざすべき方向

1 基本目標 「魅力ある水産物の生産・流通・販売で元気な浜の復活」

本県水産業が、高品質な水産物を安定的に供給し続ける役割を果たしていくためには、消費者ニーズに即した、香川の特徴を生かした水産物づくり、流通・販売促進、消費拡大を推進するとともに、それを供給する元気な漁業者の確保・育成などにより、浜の活力を取り戻す必要があることから、「魅力ある水産物の生産・流通・販売で元気な浜の復活」を基本目標とします。

本県の水産業は、海面漁業・養殖業を中心に、内水面漁業・養殖業および水産加工業からなり、水産物の安定供給をはじめとして、海域環境の保全、海洋性レクリエーションの場の提供などの多面的な機能を有し、地域社会の中で重要な役割を担っています。

しかしながら、漁業就業者の高齢化や減少、国内外の産地間競争の激化、価格の低迷、消費者ニーズの多様化、高水温や低栄養塩による生産量の減少、さらには TPP をはじめとする経済連携協定の進展など水産業を取り巻く環境が大きく変化しています。

これまで本県では、香川ブランドハマチ三兄弟の「ひけた鯛」、「なおしまハマチ」、「オリーブハマチ」を始め、「讃岐さーもん」、「初摘み」香川県産のり、「讃岐でんぶく」、「伊吹いりこ」など、香川の特徴を生かした水産物づくりや販売促進の取組みにより、知名度向上、消費拡大など一定の成果が見られます。しかし、その成果が限定的なものもあり、より一層、消費者ニーズを踏まえた水産物づくりに取り組み、県産水産物の販売力強化や TPP をはじめとする経済連携協定の動向を見据えた施策展開を図ることが重要となっています。

また、人口減少社会を迎える中、漁村地域の集落機能の低下、特に島しょ部においては漁業が基幹産業となっていることから教育・地域文化・防災などの生活基盤の崩壊に繋がりがかねない状態にあり、浜の活力の復活は急務となっており、就業しやすい環境づくりや独立までの一貫した支援により、就業者の確保・育成と定着に努め、水産業の持続的な発展や島しょ部などの集落機能の維持を図ることが重要となっています。

そこで、この計画では、基本目標を「魅力ある水産物の生産・流通・販売で元気な浜の復活」と定め、その実現に向けて各種施策の展開を図っていきます。

2 基本方針

今後、本県水産業が持続的に発展するための基本的な道筋として、「消費者の五感が求める水産物の生産と消費拡大・販売強化」と「元気な漁業者の育成と生産力を高める漁港・漁場の創造」の2つを基本方針とします。

(1) 消費者の五感が求める水産物の生産と消費拡大・販売強化

- ◇ 香川の特徴を生かした高品質で特色ある養殖魚の開発、売れる地魚の資源管理型漁業の推進等、消費者の五感に訴える水産物づくりを推進します。
- ◇ 地魚のニーズを把握し、消費者の好みに合った食材・調理方法、利用しやすい水産物の情報発信に努めます。
- ◇ 量販店での販売促進や ICT の利用を検討するなど、多様な販売ルートを確立・強化することで、安全・安心な水産物の提供を推進します。

(2) 元気な漁業者の育成と生産力を高める漁港・漁場の創造

- ◇ 就業から定着・定住までの一貫した支援によって元気な漁業者の育成に努めるとともに、漁協の基盤強化、操業安全対策に取り組みます。
- ◇ 漁港施設整備や地震・津波対策に対する支援を行うとともに、漁場環境の保全や藻場など幼稚魚が育つ場づくりを行い、漁業生産力を高めます。

3 施策体系

<基本方針>

<展開方向>

<重点施策>

